

令和4年度  
自己評価報告書

評価対象期間

自：令和4年4月

至：令和5年3月

作成日：令和5年5月31日

学校法人菊武学園

専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院

## 学校評価委員会

委員長	中川	信子	(校長)
副委員長	羽田野	梨香	(校長補佐)
委員	蓑島	哲也	(学事課長)
	鈴木	順子	(事務課長)
	森田	武志	(学事課長補佐)
	松野	真美	(ブライダルビジネス科学科長)
	田中	洋	(フラワービジネス科学科長)
	加藤	いく子	(トータルビューティ科学科長)

学校評価委員会開催日 令和5年4月25日

学校評価委員会開催場所 3階会議室

「建学の精神」 「学校理念」 「学校目的」 「育成人材像」

### 学校法人菊武学園 建学の精神

本学園の建学の精神は「職業教育をととして社会で活躍できる人材の育成」であり、本校教育の基盤である

### 学校理念

「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」

### 学校目的

豊かな感性、高い道徳心、たくましい心身を持って、地域社会において信頼される人間、かつ、自分の一生において果たすべき役割を自覚し、進むべき道を主体的に切り開く人間の育成

### 育成人材像

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる
2. ブライダル・フラワー・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している

## 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切=4		ほぼ適切=3	
	やや不適切=2	不適切=1	不適切=1	不適切=1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか	④	3	2	1
学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか	④	3	2	1

○本校の理念・目的・育成人材像が本校教育活動の根幹をなしており、それらを実現すべく教育活動に日々、取り組んでいる。

○専門分野に関する深い知識と高い技術を身につけさせることに加えて、社会人・職業人としての良識を備えた各業界で活躍できる人材の育成に真摯に取り組んでいる。

○令和4年度には、3業界関連企業ของบริษัท訪問を複数おこなった。現場の方々より、新規採用予定人材に関する明確な要望等について伺うことができた。

#### 今後に向けての方策

○コロナ禍を経て、サービス業界が復活の傾向にあるが人出不足に陥っている。そのため、現場のスタッフの高いスキルが今まで以上に必要とされている。社会から求められる人材として通用するように、学生の質を高めていきたい。

### (2) 学校運営

評価項目	適切=4		ほぼ適切=3	
	やや不適切=2	不適切=1	不適切=1	不適切=1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

○専門性を高める分野ごとのハイレベルな授業、及び豊かな情操教育の推進を目標として、日々の教育活動を行っている。

○本校の日々の教育活動等に関しては、HPやSNSを通して随時発信中。フォロワー数も伸びている。

#### 今後に向けての方策

○少子化が進む中、全国で約2,800校が設置され、約60万人の生徒が在籍する専門学校。18歳人口に占める高等教育機関の入学者のうち、専門学校は24%である。人気を集める四年制大学とは違った魅力を打ち出せるようにし、その周知を図っていきたい。

### (3) 教育活動

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
授業評価の実施体制はあるか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

○関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの見直し等を適宜行っている。

○学生による授業評価については、年に2回実施。次年度の授業内容改善に向けての糧となっている。

○資格取得については資格試験直前対策授業を集中的に行い、合格率を高められるよう配慮している。更なる合格率アップに向けて努力を続けたい。

○学園主催の教職員研修が年に数回実施されている。

#### 今後に向けての方策

○資格取得のための授業の更なる精選を行い、学生の就活の一助となるようにしていきたい。

○令和5年度に教育課程変更届提出の予定。

### (4) 学修成果

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

○就職活動が本格化する1年次の冬に向けて、業界研究・履歴書の書き方・就職面接等の指導を丁寧に行っている。

○問題を抱える学生の早期発見、早期対応を目指して努力を続けている。

#### 今後に向けての方策

○卒業生の動向に関しては、卒業生本人や就職先企業より正確な現況情報を得るよう努力を続けたい。

## (5) 学生支援

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④	3	2	1
学生への経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1

○春に健康診断を実施（全学生・全教職員対象）。また、毎年4月に学生健康調査を実施。これらの結果を踏まえて、卒業までの2年間の学生健康管理を適切に行っている。

○経済的な支援には、日本学生支援機構の奨学金、国の教育ローン（日本政策金融公庫）などがある。本校では指定校推薦・公募推薦の高校推薦入試枠に対しての学費減免制度を設けている。更に、特待生制度利用による学費減免も用意している。多くの学生が利用している。

### 今後に向けての方策

○遠方よりの入学者も多いため、保護者との連携をより一層密に行っていききたい。

## (6) 教育環境

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

○施設・設備に関しては、3分野の実習授業で必要となるものを完備している。

※令和3年3月に、1階の応接スペースをパーティースペースへ変更。

○学外の実習授業・インターンシップ、海外研修の場等については、関連分野の企業との連携のもとに研修場所を確保している。

○防災に対する意識を高めるよう指導している。

### 今後に向けての方策

○施設設備に不備がないよう留意し、教育環境を確実に整備していききたい。

## (7) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2	不適切 = 1		
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

○高校訪問等を通して、在校生の学習状況、就活状況、また卒業生の動向について説明を行っている。

○学びに対して意欲的な学生をサポートしたいとの思いから、学費減免のある高校推薦入試を紹介している。

毎年、希望する学生が多い。

○学生募集活動において、取得可能資格や就職先等についての説明を行っている。

**今後に向けての方策**

○他校にはない本校の魅力の周知を、高校生に利用が多い SNS や DM、メールを通してより積極的に発信していきたい。

**(8) 財務**

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

○学校の収入源の第一は学生生徒等納付金収入であることから財務の基盤は在籍数となる。

○当年度収支差額はプラスを維持している。

○学園本部による内部監査が年 2 回、公認会計士監査が年 3 回行われ、適正な会計処理を行っている。学園の財務情報は HP にて公開されている。

**今後に向けての方策**

○経費削減に努め、尚且つ広報活動の内容をより充実させることを通して安定的な学生数確保を目指したい。

**(9) 法令等の遵守**

評 価 項 目	適切 = 4		ほぼ適切 = 3	
	やや不適切 = 2		不適切 = 1	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

○法令、専修学校設置基準等を遵守し、円滑な学校運営を行っている。

○個人情報に関しては、学生及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止している。

○SNS を利用して広報活動を行う機会が多くある。学生の写真等が掲載される場合には、事前に掲載の可否を必ず本人に確認している。

○自己評価は、2020 年より公開し、問題点に関しては教職員で共有している。

**今後に向けての方策**

○自己評価結果を踏まえて、それを次年度へ活かしてゆく体制をより整えていきたい。

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切 = 4	ほぼ適切 = 3	やや不適切 = 2	不適切 = 1
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
学生のボランティア活動を奨励しているか	4	3	②	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

○最近の社会貢献・地域貢献については、以下の通りである。

ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュースの実施

愛知県立名古屋聾学校（千種区）生徒に対するドレス授業の実施

フラワービジネス科・・・星ヶ丘テラスにおけるグリーン・フラワーの植栽

学校前花壇の制作兼メンテ

トータルビューティ科・・・校内ビューティサロン（1コイン）

### 今後に向けての方策

○コロナ禍よりの脱却が本格化すれば、近隣の老人施設でのビューティ施術（エステ・メイク等）を再開していきたい。